

2018 年 10 月 31 日

日本のまんなか意識調査 『オレンジリボン運動に関する意識調査』 児童虐待防止を呼びかけるオレンジリボン 知っている人は全体の1/3

岐阜

児童虐待防

オレンジリボン

189

急増している児童虐待は深刻な問題であり、その防止は社会全体で取り組むべき重要な課題です。
そこで今回、フリモでは、児童虐待防止を呼びかける『オレンジリボン運動』に注目し、
モバイルサイトフリモの岐阜県会員を対象に、認知度に関する調査を行いました。

調査結果ハイライト

- オレンジリボン運動を「知っていた」は全体の 33.5%にとどまる。
- 児童相談所全国共通ダイヤル☎189（いちはやく）を「知らなかった」は全体の 78.2%。
- 情報源として挙げられた媒体はいずれもテレビ、地域情報誌、新聞の順で高かった。
- オレンジリボン・☎189ともに、「今回のアンケートにより知った」が約6割に上り、
こうした調査は周知につながると同時に、今度も積極的なPRによる認知度向上が求められる。

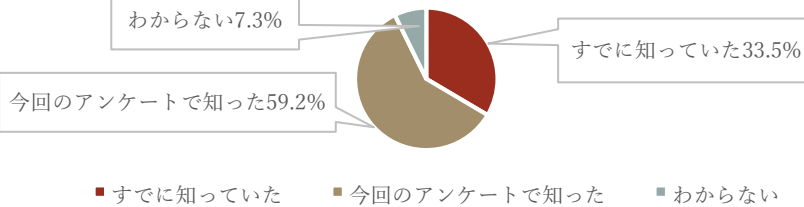
次頁より詳細とグラフをまとめておりますので、ご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

Q1. 児童虐待防止を呼びかけるオレンジリボン運動をご存知ですか？

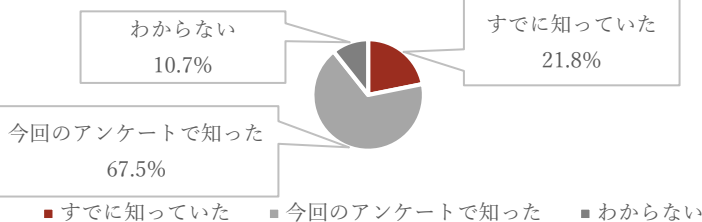
Q1. 児童虐待防止を呼びかけるオレンジリボン運動をご存知ですか？



アンケート送付時点で、「オレンジリボン運動」を「知っていた」は33.5%にとどまり、半数を超える66.5%には認知されていなかった。

Q3. 児童虐待かも…？と思ったときに相談できる児童相談所 全国共通ダイヤル189(いちはやく)をご存知ですか？

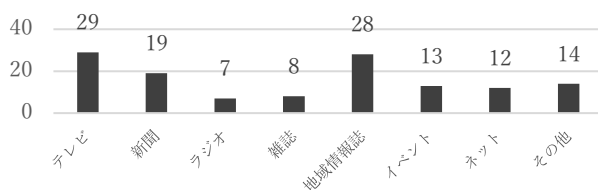
問3. 児童虐待かも…？と思ったときに相談できる児童相談所 全国共通ダイヤル189(いちはやく)をご存知ですか？



アンケート送付時点では、児童相談所全国共通ダイヤル189(いちはやく)を「知っていた」は21.8%と認知度は非常に低いといえる。

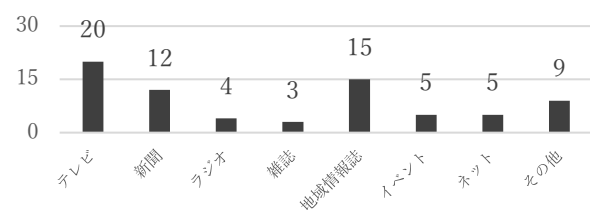
Q2. Q1で「1.すでに知っていた」と回答された方は何で知りましたか。

Q1で「1.すでに知っていた」と回答された方は何で知りましたか。(n: 69 複数選択回答)



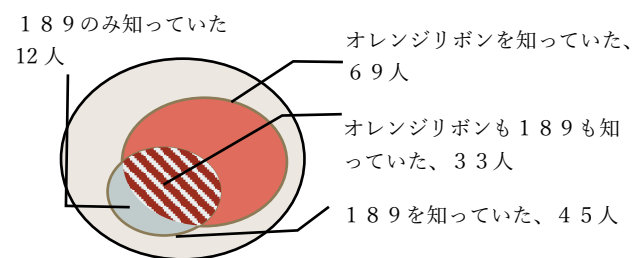
Q4. Q3で「1.すでに知っていた」と回答された方は何で知りましたか。

Q3で「1.すでに知っていた」と回答された方は何で知りましたか。(n: 45 複数選択回答)



Q2とQ4ともにテレビ、地域情報誌、新聞となった。

Q1とQ3の関連性について



「オレンジリボン」と「189」では、「オレンジリボン」の認知度がより高い。

「189」を知っている人の内71.7%は、「オレンジリボン」も知っているという結果となった。

また、いずれの項目も「今回のアンケートにより知った」が59.2%、67.5%に上り、こうした調査は認知度向上につながるといえる。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

Q1 で「すでに知っていた」と回答された人のフリーアンサー

子供が保育園からもらってくる冊子によく載っているのを知っていました。もっと色々な場面でイベント等あるといいと思います
虐待防止を広めていくのはもちろん、こういったものが含まれるのかの広報や、親が孤立しない環境づくりを広めて欲しい
大切な事ではあるが、どこまでが虐待と見るのか判断が難しく、あまり虐待と決めつけると、保護者が子育てしにくくなるので、考えて行動しなくてはならないし、通報者も責任を持っていけるようになると良いと。
まだまだ虐待かどうかを判断するのは難しく、実践するのは、かなり大変に思う。良かれと思ってやったことが逆恨みされて逆にこっちが攻撃されることもある。その対策も考えた方が良いと思う。
民生委員さんと協力して活動する団地内の委員をしています。ご近所さんの目は一番大切な情報なので、もっと取り上げてほしい
私自身、5歳と2歳のママなので、つい怒る時も感情的になり、怒鳴ったり、叩いたりしてしまい、あとから自己嫌悪に陥ってしまいます。なので相談だけでなく、ただ話を聞いてほしい時もあるので、メールなんかもあるといいなあと思う時もあります。電話だと、なかなか勇気もなく、「自分は出来ない母親なんだ…」と自己嫌悪のループにはまりそうで…
普段何気なく情報をえています、改めて質問されて再認識しました。沢山の人の知ってもらいたい。
とてもよいと思います。親自身も無意識のうちに負の連鎖に陥ってしまっているかもしれないので、このような活動を通して気づくことも増えると思います。
児童自身がなかなか言い出せない状況に、周囲の大人が如何に気づいて声をかけられるかが、最も重要ではないかと考える。
浸透するためには、もっとPRが必要
もっと多くの方に知ってほしい。一人でも多くの子供たちが救われるよう願います。

Q1 で「今回のアンケートで知った」と回答された人のフリーアンサー

なかなか知り得る機会がないので、今以上に、広く知らせるための方策を検討する必要があるのではないか。
臆と虐待では全然違うし、子供は伝えることも出来ない。周りの大人たちの気づきが助けになると思う。
自分が何も知らないのだなと痛感。
児童虐待は社会全体で取り組んでいく問題だと再認識した。自分は関係ないと思わず、みんなが自分達の問題として意識しないといけないと思った。
核家族化が進んでから必要な取り組みだと思う
しつけか虐待か判断しきれない時でも、通報出来るシステムがあれば良いと思う。
今回初めて知ったのでどんな活動、運動をしているか調べてみたいです
もしも児童虐待かなと少しでも感じられる事があったら、速やかに通報します。
虐待とわかっていても こっちからは アクションできないのが現状と思う
人の家庭に口を出すのはとても難しい問題だと思います。子どもが小学生の時の先生に、お母さんこの子にきれいな服を着せてあげてありがとうという先生がいました。きれいな服とは洗濯をきちんとされた服という意味で、子どもをお風呂に入れてやっているという意味です。それが難しい家庭があるということに衝撃でした。そういう小さな事から子どもの異変に気付いてあげられたらと思います。
周知が今ひとつな気がします。
将来ある子供達を守るためにもっとどのような内容に取り組んでいるのか周知化させてほしいです
地域での活動が誰にでも分かりやすいといいな
189 の緊急連絡先は広く知らせるべきであろう
小さな事でも通報した方がよいのか知りたい。
虐待はどこまでなのか?少し疑問なので…注意出来ないことが有ります。お子さんに声はかけてあげられるかなあ!?あまりよくわかりかねます。
とても良い取り組みで助けられる子供たちが増えればうれしいです。もう少し、この活動が広がってみなさんに知ってもらえるようお願いしたいです
子供がいなくて興味がなかったが、これを機会に少し勉強しようと思いました。
こんな取組ができたことは良かったけれど、同時にこんな対策をとらなければならない程、現状は酷いのかと思うとやりきれない

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

アンケート概要

【調査概要】

調査：オレンジリボンに関する意識調査 調査方法：モバイルフリモアンケート

調査時期：2018 年 10 月 28 日～10 月 29 日

回答者属性：岐阜県で登録済みの会員（内訳は下記の通り）

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
男性	1人	0人	13人	28人	33人	18人	93人
女性	0人	6人	27人	38人	38人	4人	113人
合計	1人	6人	40人	66人	71人	22人	206人

【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門：計量経済学：景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部の都市を探る—その軌跡と明日へのまなざし—』（共著）風媒社(2015)

「新幹線設置に伴う地域づくり事業に対する住民意識の把握—リニア中央新幹線岐阜県駅を事例に—」
地域学研究 Vol.47No.2(2018)

【Chuco Marketing Research（中広マーケティングリサーチ）について】

「Chuco Marketing Research（中広マーケティングリサーチ）」とは、株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

【モバイルフリモ®について】

「モバイルフリモ」とは(株)中広が運営する携帯ポータルサイト。

各戸配布のハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』と連動し、1道1府16県65エリアにおいて飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルの生活情報を掲載しています。

<http://furimo.jp/>

【株式会社 中広について】

(株)中広は岐阜に本社を置く広告会社。当社は、1道1都1府13県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開。1978年の設立以来多くの方々に支えられ、2015年12月に東証1部、名証1部に上場致しました。メディア事業においては、ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』を32都道府県で149誌934万部発行し(VC含む)、無料で各家庭に配布しております。また、イノベーション事業(講演会・通販・PR・フリモ・フリモAR)を展開。広告SP事業においては、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行っております。

株式会社 中広
本社：岐阜県岐阜市東興町27番地
創業：昭和53年5月1日

代表取締役社長：後藤一俊
TEL：058-247-2511（代）
資本金：4億430万円

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp